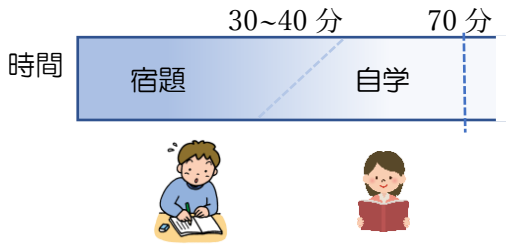


# 家庭学習(高学年) 毎日続けよう

自分からする、頭をはたらかせる、よい習慣を身に付けよう!

## 大切にしよう~取り組み方~



### おすすめ自学

その日の学習をノートに書く	運動が上達するポイント調べ	辞書を引く
名詩・名文・学校の歌などを視写する	新聞を読んで感想を書く	科学的に気になること調べ
日記「今日をふり返って」	歴史上の人物・できごと調べ	料理レシピ(実際に作った感想も)
興味がある仕事調べ	読書感想文・本の紹介	身近な英単語集め

## 家庭学習をすることで こんな力をつけよう



5年生でこんな力を付けましょう。

6年生でこんな力を付けましょう。

### 国語

- 初めて読む文章(教科書の物語・説明文)を、すらすら読む。
- 5年生までの漢字を読む、書く。
- 構成を考え、自分の考えを根拠や理由が分かるように400字の文章で書く。

### 算数

- 小数同士の $+$  $-$  $\times$  $\div$ 、分数同士の $+$  $-$ の計算をする。
- 直線で囲まれた形の面積を求める。
- 棒・折れ線・円・帯グラフ等を正しく読み取る。

### まな かの 学び方

- 自分の生活に合わせて、計画的に学習する。
- その日の授業とつなげた自学をする。

### 国語

- 初めて読む文章(教科書の物語・説明文)をすらすら読む。
- 小学校で学習した漢字を読む、書く。
- 効果的な構成で、自分の考えを根拠や理由が分かるように400字の文章で書く。

### 算数

- 整数、小数、分数の四則計算をする。
- 割合を使って、おおよその大きさを暗算で求める。
- 曲線が使われている形の面積を求める。

### まな かの 学び方

- 授業に役立つ予習、その日の学習を定着させる復習をする。
- 辞典やインターネット等を使って分からないことを調べる。

自分の家庭学習をふりかえろう (○はい △もう少し ×いい)	5 /	7 /	10 /	12 /	3 /
①毎日家庭学習をしている。					
②言われる前に自分から取り組んでいる。					
③学習する時間を決めて取り組んでいる。					
④テレビや音楽を消して取り組んでいる。					
⑤目安の時間(70分)をクリアしている。					

小千谷小学校	5年	組	番	名前
--------	----	---	---	----

# 共学の基礎・基本

～全校でそろえて指導すること～

「共学の基礎・基本」では、学習の準備や学び方について示しています。「学習の準備、聞く、話す、読む、書く」ことは、学習の基本であり、人とかかわって生活する基本でもあります。

基本をしっかりと身に付け、やる気をもって勉強していきましょう。そして、学校でも家庭でも、進んで学ぶ谷小っ子になりましょう。

## 学ぶ姿勢 (できているかな? ○はい △もう少し ×いいえ)

5 /	7 /	10 /	12 /	3 /

- ★ 足のうらをゆかにつけよう。
- ★ 背中をのぼそう。
- ★ つくえとおなかの間、背中といすの間を少しはなそう。
- ★ 鉛筆を持たない手でノートをおさえよう。

よい姿勢  
↓  
授業に集中

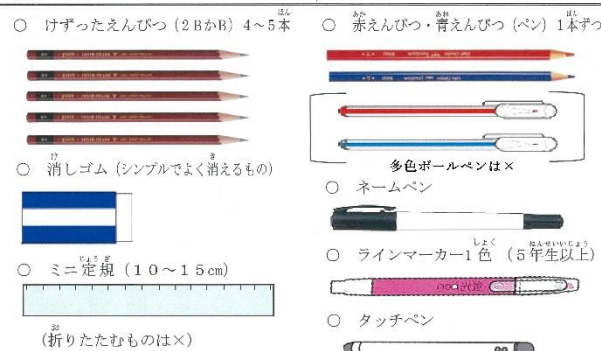


## 学習用具 (できているかな? ○はい △もう少し ×いいえ)

5 /	7 /	10 /	12 /	3 /

- ★ すべての持ち物に名前を書く。
- ★ 必要なものだけを持ってくる。

筆箱の中身

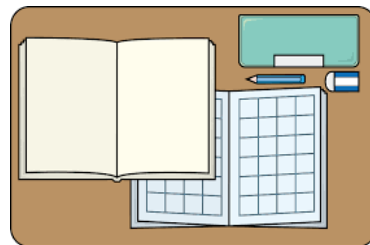


## 授業の準備 (できているかな? ○はい △もう少し ×いいえ)

5 /	7 /	10 /	12 /	3 /

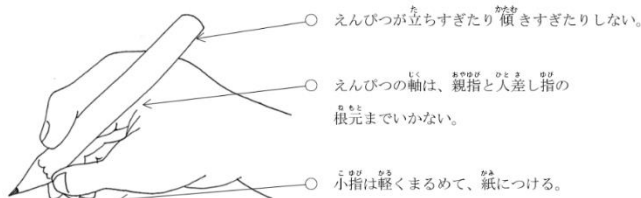
- ★ 下じきを使う。
- ★ つくえのまん中で、字が書けるようにおく。
- ★ 机の上を整理する。

<つくえの上のようす>



- ★ 授業が終わったら、次の時間の準備をしてから休憩します。
- ★ 授業が始まる前に席に着き、ノートや教科書を開きます。

### <正しい持ち方>



<気をつけよう>

△ 人差し指の先が、親指にかかっている。

△ 親指を人さし指の中に入れる。



△ 中指もえんぴつの上のせている。

## 聞く～考えのつながりをとらえながら聞く～

できているかな? (○はい △もう少し ×いいえ)	5 /	7 /	10 /	12 /	3 /
(目) 話す人に、目と体を向ける。					
(耳) 話の内容に反応しながら聞く。					
(心) 考えのつながりをとらえながら聞く。					

こんな反応ができると聞いていることが相手に伝わるよ

- 「ああ」……………うなずき・首をかたむける
- 「なるほど」「そうか」…つぶやき
- 「それもそうだよね」
- 「もう一度言って」
- 「言いたいことが分かる気がする」

大切なことは  
メモしよう。

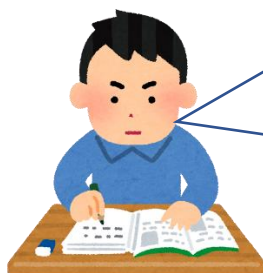


## 書く～自分の考えの変化をていねいな文字で書く～

できているかな? (○はい △もう少し ×いいえ)	5 /	7 /	10 /	12 /	3 /
下じきを使う。日付を書く。					
適度な余白 <small>てきど</small> を <small>よはく</small> 空け、絵・図・表を使いながら書く。					
自分の考えやその変化を1分2行以上書く。					

ふり返りのポイント「わがとも」

- 「わ」……分かったこと
- 「が」……がんばったこと
- 「と」……友達の見解を聞いて
- 「も」……もっと知りたいこと  
もっとやりたいこと  
もっとはつきりさせたいこと



次のように書けるようになったら  
レベルアップ!!

- 1 前に学習したこととつなげて
- 2 身の回りのことに当てはめて
- 3 自分の成長に気付いて

# 話す ~資料を使いながら分かりやすく話す~

できているかな? (○はい △もう少し ×いいえ)	5 /	7 /	10 /	12 /	3 /
聞き手が見える位置 <small>いぢ</small> に立って話す。					
根拠 <small>こんきょ</small> や例 <small>れい</small> (「例えば」「もし~だったら」) や まとめる言葉 (「つまり」「このように」「ま とめると」) を使って話す。					
友達の考え <small>いんよう</small> を引用したり (「〇〇さんの考え は~」)、まとめたりして話す。					
資料 <small>しりょう</small> や黒板 <small>てきせつ</small> を適切 <small>てきせつ</small> に使って、聞き手に語りか けるように話す。					

- ★ いつでも、どこでも、だれにでも  
堂々どうどうと話そう。



- ★ 話し合いでは、役割やくわりを決めて  
考えを出し合おう。

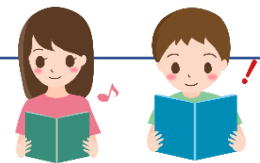
## <話し方レベルアップ!>

- ★ 大事なことをはじめに話そう。
- ★ 根拠こんきょや例を出して説明しよう。
- ★ 相手の反応を確かめながら話そう。

わたしは、~と考えます。  
〇〇には、~~と書いてありましたよね。だから~です。  
ここまでは、分かりましたか?  
次に〇〇では、~~となります。だから~だと思ひます。  
どうですか?



# 読む ~文章全体をとらえ、自分の考えを広げる~



できているかな? (○はい △もう少し ×いいえ)	5 /	7 /	10 /	12 /	3 /
叙述 <small>じよじゆつ</small> をもとに、文章全体 <small>はあく</small> を把握 <small>はあく</small> したり、登場 人物の心情 <small>しんじやう</small> を捉えたりしながら読む。					
声に出すときは、言葉の抑揚 <small>よくよう</small> や強弱、間の取 り方に気を付けて読む。					
谷小 150 冊の本を読む。					

- ★ 色々な種類の本を読み、自分の世界を広げよう!